

オーディオ実験室収載

モーツアルト盤を聴く (33) (HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(33)—

1. 始めに

前報(32)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 と再び TohrensTD124 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-124 と TohrensTD124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

加えて、仮想アース Crystal E の導入(15)で報告しましたように、スピーカーケーブルの結線に自作の仮想アースを接続しています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回もピアノソナタの曲です。

PHILIPS X7844

モーツアルト ピアノ小品曲集 (ロンドニ長調他)

イングリット・ヘブラー (ピアノ)

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

PHILIPS 盤ということで、RIAA、正相、第4時定数 High で聴いて行きます。

ロンドニ長調他モーツアルトのピアノ小品曲ばかり 17 曲を集めた盤です。

LINN LP-12 の再生では、17 曲がいずれも珠玉のような小品ですが、ヘブラーの丁寧で慈しむような優しいピアノイズムが伝わってきます。

Garrad401 の再生では、LINN LP-12 の再生とほぼ同様ですが、やや太目の音で、打鍵の力強さも感じられます。

3. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレーク、Crystal E の導入および ThorenTD124 のターンテーブルシートの交換などの総合的な効果として、珠玉のような小品に対して慈しむような優しい音で、LINN LP-12 と Garrad401 それぞれ

の表情の違いも分かります。

以上